

2017年8月3日

プロロジス

三井不動産株式会社

プロロジスと三井不動産、埼玉県川越市において 「MFLP プロロジスパーク川越」の起工式を挙

プロロジス(日本本社:東京都千代田区)と三井不動産株式会社(本社:東京都中央区)は、本日、共同事業として開発を計画していた大型賃貸用物流施設「MFLP プロロジスパーク川越」の起工式を執り行いました。

起工式には、設計・施工を担当する株式会社安藤・間 代表取締役 野村 俊明 社長をはじめ関係者の方々、プロロジス代表取締役社長 山田 御酒をはじめ関係者、三井不動産株式会社常務執行役員 ロジスティクス本部長 三木 孝行をはじめ関係者が参列し、工事の無事と事業の発展を祈願しました。

プロロジスは、物流不動産のリーディング・グローバル企業であり、国内でも最多の物流施設の開発実績があります。一方、三井不動産は、不動産業界国内最大手の総合デベロッパーとして幅広い顧客ネットワークを有しています。双方の強みを活かし、共同事業の可能性を探る過程で、このたび「MFLP プロロジスパーク川越」の開発が実現しました。双方のノウハウを結集し、より先進的で質の高い物流施設の提供を目指します。



「MFLP プロロジスパーク川越」完成イメージ

■ 開発地

「MFLP プロロジスパーク川越」は、最寄りの関越自動車道「川越」IC から車で約7分の場所に開発されます。東名・中央・関越・東北道といった主要高速道路へのアクセスに優れ、都心と全国各

方面を効率的に結ぶ輸送ポテンシャルの高い立地です。さらに、西武新宿線「南大塚」駅からも徒歩6分と至近で、従業者の通勤利便性に優れ、庫内作業の人材募集にも有利な立地です。

■ 施設計画概要

「MFLP プロロジスパーク川越」は、約 60,000 m²の敷地に、ダブルランプウェイを備える地上4階建て合計延床面積約 130,000 m²のマルチテナント型の物流施設として計画し、圏央道以南の関越自動車道沿いにおいて最大の物流施設となります。1階西側は、両面バースとする予定であり、敷地内ではトラック動線と乗用車の動線を分け、高い作業効率と安全性を確保します。また、全館LED照明を採用し、非常用発電機を備えるなど環境やBCPに配慮した施設計画とします。さらに、カフェテリアやパウダーコーナーなど、従業者の快適さを追求した就業環境を整備する予定です。

「MFLP プロロジスパーク川越」計画概要

施設名称	MFLP プロロジスパーク川越
開発地	埼玉県川越市南台
構造	地上4階建て、RC+S造
敷地面積	58,749.53 m ² (17,771.73 坪)
計画延床面積	131,298.64 m ² (39,717.78 坪)
着工	2017年8月
竣工予定	2018年10月



<本件に関するお問い合わせ>

プロロジス 広報室 (担当:古川) TEL 03-6860-9107 E-mail: sfurukawa@prologis.co.jp
三井不動産株式会社 広報部 TEL 03-3246-3155